

～『自分で考え、判断し、行動できる生徒の育成』をめざして～

★第1回生徒指導対策協議会 実践発表★

「生徒が主体となった校則見直しの取組」



4/19金に県総合教育センターで開催された『第1回生徒指導対策協議会（全県立学校の生徒指導主事の先生方の集まり）』において、生徒指導主事安田先生と生活委員会担当の高田先生が、本校の生徒が行っている『校則見直しの取組』についての発表を行ってきました！

県教委は『群馬教育ビジョン』の『最上位目標』として【一ひとりひとりが『エージェンシー』を発揮し、自ら学びをつくり、行動し続ける『自律した学習者』の育成】と掲げていますが、本校生徒の取組は『自分と社会（学校）をより良くしよう』と願う『意志や原動力（エージェンシー）』を発揮して、自らの意思と選択で自ら学びをつくり、実際の行動に移しているわけですから、『最上位目標を実践』していることになると思います！お二人の先生方の発表が、他校の生徒指導主事の方々にどう感じられたのか、そして各校の取組にどう影響を与えていくのか、その影響から前南生たちがどのように学びを再発見するのか、見守りたいと思います！（教頭 星野 亨）



高田先生の発表後、各校の生徒指導主事の班別協議の時間に「前南の取組、いいよね～」という声が聞こえてきました。他校の先生方にも響いていると感じました。今回の「前南 NEW スタイル」が生徒皆さんの取組で「前南の当たり前」になり、さらなる前向きな取組へとつながられることを期待します。（生徒指導主事 安田智則）

校則の見直しを生徒と一緒に進めてみて、前南の生徒たちの可能性をより感じることができました。自分本位にならず、学校のことを「主体的」に考えられる立派な生徒たちだと思いました。校則の内容自体は大きく変わらなかったように感じられるかもしれませんが、自分たちの学校を自分たちの手で変えていけるんだという実感は得たのではないのでしょうか。今年度も話し合いを継続してよりよいルール作りを目指します。（生活委員会担当 高田 慧）

★校長より★

「生徒主体の校則の見直し」の取組は生徒の皆さんのエージェンシーが発揮された素晴らしい取組だと感じました。大学や企業の方の意見を聞き、合理性のある校則を議論して作り上げていく。このプロセスは高校生が校則の見直しを考えていく上での一つの方向性を示せたと思います。今後、色々な学校の生徒が校則の見直しに挑戦していくでしょう。「生徒主体の校則の見直し」は前南発信でこの地域の高校に影響を与える取組になったと思います。

校長 原 拓史